

第133回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】気軽に話ができる場所を設置してほしい

なごみに設置されている「みんなの居～場所」では、既にグループが形成されていて、新規の方が参加しづらい雰囲気がある。自然な会話が生まれるような、誰でも気軽に立ち寄れる居場所を整備してほしい。

⇒【村長コメント】

「みんなの居～場所」の現在の運用状況については、担当課に確認する。サークル活動やイベントのレクリエーションへの参加もありかと思う。

⇒【担当課コメント】

「みんなの居～場所」は、障がい者やその家族等に対し、社会参加の促進や社会的孤立の解消を図ることを目的に令和6年度から週に1回開催しており、参加者各自が好きな時間に来所し、会話やゲームを楽しむ等自分のペースで過ごせる場所として、月平均25名の方が利用しています。

精神保健福祉士を常駐し、安心して利用しやすいよう運営しており「話を聞いてもらえる」「ゆっくり過ごすことができる」等の感想をいただいています。

今回いただいた御意見をふまえ、新規参加者の方についても、より馴染みやすい運営に努めていきたいと思っています。

【2-1】文化センター駐車場の立体化について

現在、文化センターの工事が行われていると思われるが、悪天候時の避難所やイベント会場として活用するためにも、立体化し駐車場に屋根があると便利だと感じる。

⇒【村長コメント】

駐車場の立体化や屋根の設置は、建築関係の法制度との兼ね合いで、実現が難しい。災害発生時には、近隣の避難所への避難をお願いすることになる。

【2-2】学校に録音機能を導入してほしい

先日、学校に電話をした際、相手方の背後で電話の呼び出し音が頻繁に鳴っており、教職員にとって負担になっているように感じた。電話対応の前に録音による自動音声案内を導入することで、負担の軽減につながると思う。

⇒【村長コメント】

役場庁内でも導入している事例であり、実現可能と考えられる。学校の意向や現状を把握するためにも、担当課に確認する。

⇒【担当課コメント】

各学校のニーズや電話設備の状況を踏まえ、導入について検討します。

【3－1】イオン東海店前にいる中学生の素行について

お客様より「19時頃、イオン前で少年たちが喫煙している様子を見た。喫煙所への誘導をして欲しい。」とのご意見があった。喫煙を目撃すれば、本人たちに注意はしている。警察に連絡しても到着前に立ち去ってしまう。学校にはまだ連絡していない。

⇒【村長コメント】

事件に発展する前に対応できるように、担当課に確認する。

⇒【担当課コメント】

日頃より本村の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。教育委員会においても、イオン東海店前で少年たちが喫煙をしているという情報をもとに、警察及び生涯学習課青少年担当とも情報共有を行い、パトロールを強化していただいているところであります。中学校へも情報提供及び照会を行い、喫煙の事実が判明した事案につきましては、該当生徒及び保護者に対して、未成年による喫煙は違法行為であることや、喫煙をすることによる自身の健康に与える影響及び周囲に与える影響について話をし、喫煙をやめるよう働きかけております。今後も継続して対応してまいります。中学生と判明している事実がございましたら、現場での指導を行うことも有効であると考えておりますので、学校もしくは教育委員会指導室にご連絡いただきますようお願いいたします。

今後とも、本村の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

【3－2】村内の電柱・看板等への落書きについて

村内の電柱や看板などに、規則性のある文字による落書きがある。

⇒【村長コメント】

担当課へ情報共有する。

【4】いばらきヘルスロードについて

いばらきヘルスロードのコース上に草が生い茂っていて支障となっている。また、コース内にトイレや休憩場所が少ないと感じる。環境整備を希望する。

⇒【村長コメント】

各コースの環境状況について、担当課に確認する。

⇒【担当課コメント】

（道路上の草の繁茂について）

ご意見いただきましたいばらきヘルスロード上の草につきましては、昨今の気候に伴い草の繁茂状況も変化しておりますので、いばらきヘルスロードの担当課とも協議を行い通行に支障がないよう適切に管理してまいります。

（トイレや休憩場所について）

「いばらきヘルスロードは、指定ガイドラインの規定に沿って、安全性の配慮をはじめ、休憩できる場所が近辺にある等の条件に準拠したコースを指定させていただいております。

コースの御利用にあたっては、コース上の既存のトイレや休憩スペースを活用くださいますようお願いいたします。

また、当課で実施しております「みんなですこやかウォーキング」の際には、ウォーキング

の途中、休憩場所で水分補給やトイレ休憩の時間を設けておりますが、トイレの数も限られておりますので、今後はスタート前のトイレ利用の声掛け等についても徹底してまいります。